

執筆者一覧

監 修

川島 眞 東京女子医科大学 名誉教授

執 筆

川島 眞 東京女子医科大学 名誉教授

石黒 直子 東京女子医科大学 皮膚科学教室 教授・基幹分野長

常深 祐一郎 埼玉医科大学 皮膚科 教授

福屋 泰子 練馬光が丘病院 皮膚科 部長

竹中 祐子 東京女子医科大学 皮膚科学教室 講師

改訂3版

やさしく学べる 必須 皮膚疾患

目 次

はじめに	3
------	---

序 章	
皮膚の構造	7
発疹の種類	9

疾患編	
アトピー性皮膚炎	16
接触皮膚炎（かぶれ）	18
乾皮症、皮脂欠乏性湿疹	20
蕁麻疹	22
乾癬	24
痤瘡（ニキビ）	26
酒皰	28
単純疱疹	30
带状疱疹	32
ウイルス性疣贅	34
伝染性軟属腫（みずいぼ）	36
足白癬、爪白癬	38
手湿疹	40
脂漏性皮膚炎	42
痒疹	44
伝染性膿痂疹（とびひ）	46
チャドクガ皮膚炎	48
疥癬	50
薬疹	52
円形脱毛症	54
老人性色素斑と脂漏性角化症	56
母斑（ほくろ）	58
悪性黒色腫（メラノーマ）	60
尋常性白斑	62

粉瘤と炎症性粉瘤	64
熱傷（やけど）	66
褥瘡	68
陥入爪、巻き爪	70
凍瘡（しもやけ）、レイノー症状	72
口内炎	74
汗疹（あせも）、多汗症	76
掌蹠膿疱症	78
胼胝（タコ）、鶏眼（ウオノメ）	80

薬剤編	
ステロイド外用薬	82
保湿外用薬	84
免疫抑制外用薬	86
レチノイド様外用薬	88
過酸化ベンゾイル製剤	90
抗菌外用薬	92
抗真菌外用薬	94
抗ヒスタミン薬	96
抗ヘルペスウイルス薬	98
活性型ビタミンD ₃ 外用薬	100
亜鉛華軟膏	102
抗潰瘍外用薬	104
生物学的製剤	106
免疫抑制内服薬	110
疥癬治療薬	112
レーザー治療	114
PDE 4 阻害薬／JAK 阻害薬	116

用語の補助解説	118
---------	-----

索引	132
----	-----

序章

皮膚の構造

皮膚の役割

皮膚は体の表面を覆い、外的刺激から体の内部を保護する役割があります。また、発汗や血流を調整することで体温を調節したり、触覚などの感覚器として働いたりするなど、さまざまな機能を備えています。成人の場合、表面積で約1.6㎡、重量で体重の約16%を占める人体最大の臓器です。

表皮、真皮、皮下組織の3層で構成され、付属器官として汗腺、脂腺、毛、爪があります。

皮膚の機能

保護、防御	打撲、摩擦などの物理的刺激、化学的刺激から、体の内部を保護する。紫外線を防御し、細菌・ウイルスなどの侵入を防ぐ。体内の水分の蒸発を防ぐ。
調節	発汗や毛穴の収縮、皮下の血管の血流量の調整などにより体温調節を行う。
感覚器	神経終末により痛み、触覚、温度、圧力を感じる。
免疫反応	表皮内の免疫細胞であるランゲルハンス細胞が、アレルギー物質などの異物(抗原)の侵入を感知し、T細胞に伝達することで接触皮膚炎を生じて抗原の排除を行う。

皮膚の構造

